

第2号様式（第11条関係）

意見公募手続(パブリックコメント)に対する意見等の概要及び検討結果

- 1 案件名：鹿屋市森林・林業振興計画(案)
- 2 意見の募集期間：令和4年12月22日～令和5年1月20日（30日間）
- 3 意見提出者： 2人
- 4 意見数： 9件

〈検討結果区分〉

A：策定案に反映できるもの	2件
B：既に盛り込み済みのもの	0件
C：今後の参考となるもの	6件
D：反映できないもの	0件
E：その他感想や質問など	1件
計	9件

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	<p>今後木は集められる工夫をする。</p> <p>釘の集進化“木の釘”（名前は募集、強度が良く、滑りにくい木、開発するトンカチ、棒くさびを応用する）又は木のネジ(仮)</p> <p>小学校の知的教育やアイデアロボット（人口AI搭載、燃えにくい木、人口頭脳や人口心臓の素材など、腐らない木、やわらかい木、柔軟性がある木、アイデアは公募、コンテスト+クラウドファンディング+フェスティバル+宝くじ+税金など)</p> <p>袋を木の袋として利用できないか開発するか、空気が吸うが食物が内側だと腐らない構造の容器ポリ袋ならぬ木の袋、木の大きさの概念を変えてみる。</p> <p>かのや木を愛そう概念を変えるコンテスト、フェスティバル、クラウドファンディング、宝くじ、お買物券の一部を林業の賃金に充てる。</p> <p>内職に出来ないか工夫してみる。</p>	E	御意見として承り、今後の市政運営の参考とさせていただきます。

林業は外のため、教育実践人材登用を上手にできないかアイデアを募集する。

実際に現実的な考え方で壊れてもプラモデルのようにまた付けることが簡単で、火に強く、耐水性でボートのようなジェットボートのような、車のような、そしてバスのような、あと木材で作る“木のちり紙”木のトイレトーパー、耐久性の強い木製便器を開発する。

水に溶けやすく、分解しやすい仕組みをアイデアコンテストで募集する。

反面、乾くのが早い木材も開発する。つまり“木の布団”を開発する。そして肥料になる木材の開発、アイデアコンテストで募集するそれが軌道になるようだったらクラウドファンディングをする。配合も考えて安い肥料を開発する。木は簡単に折れる。この常識から手術用のメスに使う“機のメス”を開発する。あとほぼ不可能といわれている分野だが車の車体かエンジンに使えないか検討してみる、例えば全部でのいいし“木のネジ”でもいい、燃えない鍋に注目する普通常識的に見れば木は燃える陶器や金属の代わりになれば話題性あり、捨てたければ肥料に出来れば捨てたあと肥料にした後、これをアイデアコンテストに募集する。なにも木は移植としても使える装具の一面もあわせ持つ、つまり再生資源の手助けとなるのもあり、手や指を木で使用する。また取り外しやすく、安い資源豊富など、賃金は会社というより非営利団体でつくる。林業の専門学校を作る。中学の部分を含めてもいいし、含めなくてもいい、要はその現場にあった実情にあったやり方をしていく。土地によって現状は違うからだ、また木は切ったら雨水を含まない為、洪水土砂すべりを想定して危険区域を選定しておく、安全は日々日頃の努力から生まれることも忘れない。

【意見については原文のまま記載】

2	<p>1. 大隅産建材の地産地消の推進</p> <p>大隅産建材の加工設備の建設、大隅産建材の製品化、流通網整備、ブランドPR（例：大隅の木で家を建てよう！）など。</p>	A	<p>「第4章 基本施策 1 持続可能な森林・林業（経営）の推進 ② 市産材の利用促進」及び「2 将来を担う経営体の確保・育成 ① 担い手の確保・育成」において、地元産材を積極的に活用した家づくりの推進に取り組むことや、木材の高品質化と付加価値の向上を図るための木材加工施設の整備を推進することを記載しました。</p>
3	<p>2. 間伐材・伐採枝等の有効利用</p> <p>現在は造園等の伐採枝の廃棄処分は有料になっていますが、地域資源として無料で引き受け有効活用していただけないでしょうか。</p> <p>（1）間伐材・伐採枝等の農業用自然堆肥への活用</p> <p>間伐材・伐採枝・流木等のウッドチップ化施設を整備し、サツマイモ等のカスや畜産堆肥などの地域資源を混合し、大隅産自然堆肥製造施設の建設、製品化（市民利用は低価格）、ブランドPR。既存体制がある場合はさらなる支援。</p> <p>※化学肥料の高騰を背景に、今後需要が高まってくると思われます。</p> <p>（2）間伐材・伐採枝等のバイオマス発電への活用</p> <p>間伐材・伐採枝・流木等やサツマイモのカスなど地域資源を有効利用したバイオマス発電所の建設。</p> <p>※化石燃料・ガス・原子力発電などに頼らない地産地消の自然エネルギーとして、今後需要が高まってくると思われます。</p>	A	<p>「第4章 基本施策 1 持続可能な森林・林業（経営）の推進 ③ 新たな需要に向けた取組」において、未利用木材等についてオガ粉の製造、供給体制の充実やなど、木質バイオマス利活用を推進することを記載しました。</p>
4	<p>3. 市民の林業関連体験等の推進</p> <p>（1）大隅産木材に親しみを持つ体験施設の整備・イベント実施</p> <p>木工体験施設（市民が気軽にDIYできる木工館など）の整備、既存施設（木工室のある公民館など）のPR、木工イベントの企画実施。</p>	C	<p>「第4章 基本施策 3 健全で豊かな森林（もり）づくり ① 市民参加の森林づくり」に係る具体的な施策の御提案として承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。</p>
5	<p>（2）未来の森林木材関連職の担い手養成</p> <p>未来の建築技術者・林業技術者のたまごを育てる市民講座や関連イベントの企画実施。</p>	C	<p>「第4章 基本施策 2 将来を担う経営体の確保・育成 ① 担い手の確保・育成」に係る具体的な施策の御提案として承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。</p>

6	<p>(3) イノシシ駆除活動の推進・担い手養成 狩猟技術者・精肉技術者の養成講座、市内飲食店等のジビエ肉販路網の整備など。</p>	C	「第4章 基本施策 5 山村地域の振興 ② 山村の振興」に係る具体的な施策の御提案として承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。
7	<p>4. 市民の自然体験活動等の推進 (1) 市民の自然体験活動環境フィールドの整備 ・登山道の整備（通行止めの登山道の復旧、定期的メンテナンスなど） ・登山道の整備ボランティアの募集</p>	C	「第4章 基本施策 5 山村地域の振興 ① 里山の保全」に係る具体的な施策の御提案として承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。
8	<p>(2) グリーンカントリー高隅の整備 ・グリーンカントリー高隅周辺の整備（川や登山道の整備、休憩所の整備など） ・グリーンカントリー高隅の名称変更 現在の名称はゴルフ場の名前に似ていて分かりにくく親しみを感じられないので、「大隅自然休養の森」など分かりやすい名称に変更していただけないでしょうか。</p>	C	「第4章 基本施策 3 健全で豊かな森林（もり）づくり ① 市民参加の森林づくり」に係る具体的な施策の御提案として承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。
9	<p>(3) 市民の自然体験活動や森林環境教育の推進 周辺自治体の森林体験型施設（垂水市：猿が城溪谷・大野自然学校、錦江町：でんしろ館・花瀬自然公園・稲尾岳ビジターセンターなど）では、インフラが充実しているだけでなく、様々な自然体験型イベントを主体的・継続的に企画できる組織が存在し、各プログラムは予約待ちが出るほど活発です。 ところが、鹿屋市には県内有数の高隈山山系・国見山山系というフィールドや、市営の霧島が丘公園、グリーンカントリー高隅などの自然体験施設があるほか、県立大隅青少年自然の家・国立鹿屋体育大学などの野外活動の専門施設がありますが、鹿屋市（または鹿屋市民）が主体となった継続的な自然体験型イベントはほとんど企画がないように見受けられます。</p>	C	「第4章 基本施策 3 健全で豊かな森林（もり）づくり ① 市民参加の森林づくり」に係る具体的な施策の御提案として承り、今後計画を推進する上での参考とさせていただきます。

	<p>鹿屋市内の森林フィールドや林業・農業・水産業・各施設等を横断的に活用しながら、市民の自然体験活動プログラムを主体的に企画・実施できる市民リーダーの養成講座や各活動への財政的支援制度などご検討いただければと思います。</p>		
--	--	--	--